

あんぜん あんしん お届けします。

モグモグ

MOGMOG

2010
No.350

CO-OP
東都生協だより

19

特集



いのちの尊さ

今月の
おすすめ

「新米」

ふっくらご飯に心も踊る。

第7回東都生協平和のつどい

7月24日 午後1時半～午後4時 セシオン杉並ホールにて

今回の「平和のつどい」は二部構成で、次世代に歴史の事実や平和の大切さを伝え、多くの組合員が交流しました。第1部が平和をテーマにした劇の上演、第2部では被爆者の証言や、(社)東友会へのひざかけの贈呈、NPT再検討会議の報告などを行いました。

この「平和のつどい」は、家族で平和について考える機会にと、例年夏に開催しています。

三つめの舞台は千年の時を越えた流水の世界。ある写真家が出会ったのはアザラシの母子。写真家はアザラシの赤ちゃんを撮り、情報が激しく行き交う現代社会と永遠を象徴するかのような流水の世界を歩き来しながら、戦争の絶えない世界の終末を予感します。

《あらすじ》

第1部 劇

『表現者のびおとーぷ unseen ～あんしいん～』

一つめの舞台は2010年。何気ない日常の中に現代の平和が感じられます。二つめの舞台は1944年夏、遠足のようにウキウキ気分です。児童疎開へ向かう子どもたち。慣れない田舎での集団生活と貧しい食事にいつもお腹をすかせ、次第に元気を奪われていきます。1945年3月10日の直前、卒業を控えたまり子は東京に帰ることに…。



インタビュー1
登坂 倫子さん
(演出・脚本・出演)

プロフィール
元宝塚歌劇団星組。女優、演出家。演劇ヴォイス講師。1995～2002年アメリカ滞在中、女優、演出家として活動。『A Thousand Cranes (禎子と千羽鶴)』では、約千人のアメリカの子どもたちを招待、大成功を収めた。

- Q** 平和の劇に携わったきっかけは？
A アメリカの演劇学校で貧困地域の子どもたちを招待する企画がありました。"ヒロシマ"を主題に、偶然友人がネットで見つけた、アメリカ人が書いた英語子ども劇『A Thousand Cranes (禎子と千羽鶴)』を、イラク戦争直前のアメリカで上演しようと思いました。
- Q** 今回の脚本の発想はどこから？
A 帰国後もこの劇を何度か上演しましたが、なぜ戦争が起るのか、納得できる答えが見つかりませんでした。それで本を読みあさっていくうちに、ある報道写真家の本に「資源の取り合いや環境問題も影響している」とありました。その年は暖冬で地球の変化を感じていたこともあり、戦争や環境をテーマにオリジナル脚本を書きたくなったのです。
- Q** 脚本を書き上げるまでにどんな活動を？
A いろいろ資料は読みましたが、写真家の桃井和馬さんと小原玲さんの著書はほとんど読みました。また、子どもたちに本当のことを伝えたくて、知床の流水とそこで生きている野生のアザラシを見に行きました。さらに、新聞社を通して児童疎開経験者を紹介していただき、お話を伺いました。映画『僕ちゃんの戦争』はとても参考になりました。
- Q** 最後にこの劇で伝えたいことは？
A 出演者、観劇者それぞれ、時を経て何かの形で芽が出たり、また眠ったままだったり…、個々の現れ方自体が伝わったことになるのではないのでしょうか？

インタビュー2 ①劇への参加動機 ②練習でのよかったこと、つらかったこと



幸子役 内藤 柚菜さん(中2)
①演劇部なので、学校以外でもやりたいと思っていたら母に誘われた。
②学校ではなかなかできない発声法などを教わってできるようになったことと、違う学年の人たちと交流ができてよかった。



和子役 木津 知衣菜さん(小5)
①3年前にお母さんに友情や協力がテーマの劇を見せられて感動し、面白くて自分でも演じてみたかった。バレエを習っていて舞台経験はあったので参加しようと思った。
②他の出演者と友だちになれたのがよかった。セリフを覚えるのと練習に通うのが大変だった。



いのちの尊さ

東都生協は、戦争の惨禍を二度と繰り返さず、子どもたちに平和な世界を引き継いでいくために、さまざまな平和活動を行っています。そして組合員は、活動に自ら参加できなくても、平和への願いを平和募金に託すことができます。今回は、平和募金を利用した企画の内容を紹介します。

沖縄戦跡・基地めぐり

沖縄を知ることで、日本の平和を考えるという企画です。春休み中の2泊3日を利用して、親子参加することで戦争体験の次世代への継承を考える機会としています。沖縄戦の体験談を聞き、ひめゆりの塔や安保の見える丘などを見学し、沖縄の実相を学びます。

※米軍が沖縄に上陸しての沖縄戦は、1945年3月26日から6月23日まで3カ月間に及んだ。民間人を多く巻き込み、米軍攻撃は「鉄の雨」「鉄の暴風」と呼ばれ、まさに地獄であった。



沖縄戦跡めぐりの様子

平和募金企画

組合員からの平和募金の補助を受けて、「平和のつどい」のほかにも、さまざまな企画が行われています。



ヒロシマ平和代表团 ナガサキ平和代表团

ヒロシマ・ナガサキに原爆が投下された8月6日と9日を中心に、それぞれ1泊2日、2泊3日の日程で平和代表団を派遣しています。どちらも日本生協連主催の「虹のひろば」に参加し、被爆者のお話を聞いたり、原爆死没者慰霊式・平和祈念式や碑めぐりなどとおして被爆地の実相を学び、平和の尊さについて考える企画です。親子参加以外にも、高校生以上なら1人での参加もできます。

※1945年8月6日午前8時15分、快晴。人類史上初の原子爆弾が広島に投下。約14万人の市民が死亡。

※1945年8月9日午前11時2分。一瞬の雲の切れ間を狙い、広島より威力の大きい原子爆弾が長崎へ投下。投下地が山間部だったため、広島より被害が小さかった。約7万4千人が死亡。



2009年の
ヒロシマ平和
代表团



2009年の
ナガサキ平和
代表团

松代大本営地下壕見学会

夏休みの1日を利用して、長野・俊英高校郷土研究班の皆さんのガイドで、松代大本営地下壕を見学します。松代大本営とは、太平洋戦争末期に本土決戦に備えて国家中枢機能移転などのために造られた地下軍事施設群です。

今年は7月27日に行われ、組合員18人が参加し、戦争時の住民の苦労話などを言い伝える高校生たちと交流を深めました。

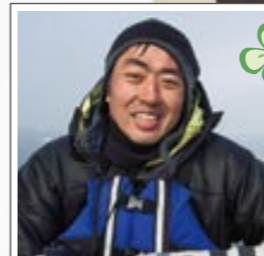


松代大本営
地下壕見学
の様子

第2部

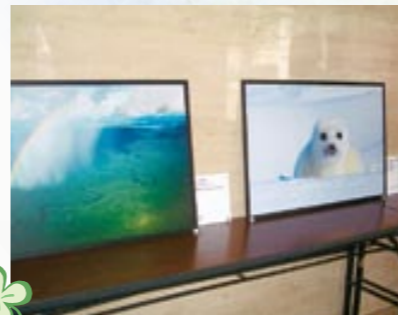
第1部の劇の上演後、第2部では「被爆者の証言」「(社)東友会(東京都原爆被害者団体協議会)へのひざかけの贈呈」「NPT再検討会議の報告」が行われました。会場ロビーでは平和に関する展示・写真展が開かれ、組合員が平和を学ぶ場となりました。

第1部の劇中人物の
モデルとなった小原さん



小原 玲さん

7人の写真家とともに「EYE WITNESS (世界の環境危機を訴える写真家たち)」を立ち上げた動物写真家。天安門事件、湾岸戦争、ソマリアの飢餓などを取材。天安門事件ではアメリカLIFE誌の「The Best of LIFE」に選ばれた。地球温暖化による流水の減少とアザラシの赤ちゃんの被害を社会に伝えている。



7人の写真家集団「EYE WITNESS」による、自然本来の姿を伝える写真展示。



被爆者の証言

現在、府中市在住の仲伏幸子さんが、65年前、5歳の時に広島で被爆した体験談を話しました。

当時5歳だった仲伏さんの背中には、爆風でガラスが刺さりましたが、それ以上に周りではもっと恐ろしいことが起こっていた、と仲伏さん。「あなたが心配で」と被爆をしながら帰って来た母が目の前で息を引き取ったこと、「水がほしい」と手を伸ばす被爆者の姿を何度も夢に見るそうです。どんな困難にあっても原子爆弾で亡くなった人々を思うと生きられない、これからは世界が協力して平和をつくってほしい、と時折涙を見せながら話されました。

城南支部 テーマ別委員会 ピース ニットカフェ

(社)東友会へ贈るモチーフ編みのひざかけづくりをテーマに、昨年はアクリルたわしやコースターを作ってモチーフ編みのスキルを磨き、ひざかけを23枚、マフラーを3枚仕上げました。初心者からベテランまで19人の大所帯で、趣味・特技をいかし、ブロック活動や子育てのことなど、おしゃべりしながら楽しくモチーフを編んでいます。



ひざかけ贈呈

第1部の劇に出演した子どもたちから、(社)東友会の皆さんへ組合員が作ったひざかけなどの編み物を贈りました。



展示パネル 社会委員会による「東京大空襲」と、沖縄の基地問題に関する「琉球新報」の新聞記事の展示パネル。



NPT再検討会議、生協代表团参加報告

2010年5月31日、28日、ニューヨーク国連本部で開催されたNPT再検討会議。世界の核廃絶の動きを進展させるため、4月30日～5月6日の日程で全国の46生協県連から派遣された代表团に東都生協から代表として松島正枝理事が参加しました。



組合員の平和活動

Love & Peace

音符と遊ぼう

(2009年度の取り組み)

NPO法人「国境なき医師団」の岡崎卓也さんを招き、活動の紹介や報告と、ジャズピアニストの河野康弘さんによるピースコンサートを開催しました。参加者は、環境保護と平和活動に携わっている人の生の声を聞くよい機会となりました。



今月のおすすめ

新米

ピカピカの「新米」の季節！
さらにおいしくいただくためのヒント、お教えします。

ふっくらご飯に、心も踊る。



素材のウンチク

③ 新米

「新米」って、

JAS法が定めた「玄米及び精米品質表示基準」によると、収穫年の12月31日までに精白・包装された精米に対して「新米」の表示ができることになっています。お正月くらいまでは楽しめる、と覚えておいてください。

また、日頃の生活と密着した言葉でもありません。職務について間のない、経験が足りない人のことを指して「新米」と呼ぶでしょう。いかにも初々しい真っ白な感じが、よく出ていると思いませんか？

米の種類

米は世界の主要な穀物の一つですが、そのほとんどはアジア各国で生産されています。形や性質により、粒が丸く粘りがあるジャポニカ種(ササニシキやコシヒカリなど)、粒が細長くあっさりした食感のインディカ種などに分けられます。

米は生モノ!?

精白した米は青果物と同様、生鮮食品です。密封された容器に入れ、冷暗所での保管(可能なら冷蔵庫)をおすすめします。夏場は3週間を目安に使い切りましょう。

「飯」って何?!

米の炭水化物は、肉などの脂肪よりエネルギーとして優先的に、しかもゆっくり消化・吸収が行われるため、体に脂肪を貯めることが少ないといわれています。でも食べ過ぎは禁物。余ったエネルギーは運動で消費しましょう。

戦争体験文集&平和募金企画参加者文集

戦争を体験された方の声をしっかりと次世代に継承していくことは、21世紀を生きる私たちの責務であると思います。平和活動に参加し、寄せられた文を編集した『戦争体験文集&平和募金企画参加者文集』からほんの一部ですが、内容を抜粋して紹介します。

戦争体験 ー夫、藤田忠三郎のことー

藤田 喜美子さん

30年前に亡くなった夫、藤田忠三郎から聞いた話をもとに記憶をたどります。

終戦1年くらい前に北京で夫は召集され、山西省方面へ向かったと聞きました。終戦となり集団で歩いていたら、中国の民衆に襲われトウモロコシの畑に逃げ込みましたが、外側から火をつけられ、散り散りに逃げ回り、夫は一人になったそうです。再び北京へ向かって歩きはじめましたが、食べるものもなく、蛙やオタマジャクシ、または木の皮をはいで食べたり、腰の皮ベルトをかじっていたと言っていました。

途中、疲れ果てて農家の物置の陰で寝ていると、中国人の老人がカンテラ(ランプの一種)を手に近づいて来て、見つかつてしまいました。ところが親切なことに、最初はおかゆを、それから徐々に常食を食べさせてもらい、1週間ほどお世話になったようです。また、捕まらないようにと中国服に着替えさせてくれ、その家のおばあさんを背負って親戚の家まで送り届けるという算段まで付けて、夫のためにいろいろと取り計らってくださったとのこと。捨てた神あれば助ける神あり。どれほど夫は感謝したことでしょう。いずこの国にも親切な人がいるのですね。

ところが北京近くに来てスパイだと言われ投獄されました。獄中で朝鮮の人が門衛を殺して脱走。その朝鮮人が領事館に知らせてくれ、夫は助け出されました。その後、北京の知人宅にお世話になり、夫は引き揚げて来ました。(以下略)

2009年度

松代大本営地下壕見学会の感想文より

伊東 弥栄子さん

松代大本営地下壕見学会に参加して、戦時中は中国におり日本の戦争体験のない私は、戦時下の日本人が味わった苦勞の数々に衝撃を受けました。中国では、大本営発表のニュースしか知りえなかったため、今回の見学会で非情な戦争の一端を知ることができました。

私は中国で学徒動員をされて造船会社で働き、空襲も体験しました。その体験を通して、たくさんの人々の生命を奪った戦争を、再び繰り返してはならないと思いました。また、アジアの人々の生命を奪い、平和な暮らしを奪った侵略戦争を二度と許してはならないと強く思いました。

見学会では、高校生の皆さんの真剣な取り組みにたいへん胸を打たれました。教頭先生のお話で、生徒さんの学校は、『教育は死なず』の著者として有名な若林繁太さんが以前校長を務められた篠ノ井旭高校(現、長野俊英高校)であると知り、若林先生の時代から築かれた教育理念が現代に受け継がれて、平和な未来への道が生徒さんたちの行動によってみどりつつあることに確信が持てました。



平和への活動、いかがでしたか？ ヒロシマ、ナガサキに原爆が落とされたあの夏の日。一瞬にして多くの命を飲み込んでしまったあの瞬間。その直前までセミは鳴いていただろうか、とふと考えてしまいました。

多くの組合員の思いが形になった平和募金企画。募金をした組合員の願いを今度はあなたが受け継いでいきますか。11月ごろに予定している平和募金や平和活動に参加して、いのちの尊さ、平和の大切さを実感しましょう。

アテンション・プリーズ!!

「新米」について、何か思い出はありますか？

p.13のクイズの答えに添えてお送りください。
お米のオリジナル・レシピなどもお待ちしております。

今月のおすすめ

お米の中でも一番おいしい、新米!

ふっくらと炊きあがった新米は、それだけでおいしくて、「おかずいらず」といわれるほど。ご家族みんなで今年の新米をお試しあれ。

新米をめぐるお話

「みずほの国、日本」は2000年以上昔からお米を作り食べてきました。お米は小麦よりも単位面積あたりの収穫量が多く、連作障害がないため、狭く平野が少ない日本の国土には適しています。今ではどこでもお米が作られ、東都生協のお米の産地も北から南まで広がっていますが、今回は千葉県を紹介します。

房総半島の九十九里浜にほど近い匝瑳市は黒潮の影響で冬でも温暖な気候。「谷津田」と呼ばれる独特の台地では、肥沃な土地を利用し、土づくりに重点をおいて米、野菜が作られています。(農)房総食料センターでは、自慢の米や野菜づくりのノウハウを未来を担う若い生産者へと継承する時期が近づいているものの、まだまだかつての若者も負けていません。

さて、新商品「千葉ふさこがね」栽培は、昨年秋、土への鶏ふんのすき込みからはじまりました。今年3月、化学合成農薬を使わず温湯で種子消毒、4月に田植え。5月には日光不足にも負けずに育ち、7月の開花から夏の暑さにも耐え、9月黄金の稲穂に!

今年は房総の新米を食べてみませんか?

生産者の声



竹内宗之さん

「除草剤を控えるため、田植え～稲刈りの間に4～5回草取りを実行。大変ですが環境に優しい栽培には欠かせません」



越川大助さん

「土づくり、温湯種子消毒、除草剤を減らすための草取り……と栽培にこだわり、おいしいお米をお届けします!」



山崎真利さん

「ふさこがねの普及につとめ、米栽培をさらに将来につなげたいと考えています。どうぞ味わってください!」

「千葉ふさこがね」モニターの声

昨年秋、20～70代の組合員60人を対象に行った調査では、



と大変好評。

試食したモニターからは、

☺「粒が大きくて美しい。炊きあがりかピカピカ光っておいしかったです」☺「炊き上がってお釜のふたを開けたときからよい香り!」☺「ふっくらして甘みがあって、冷めても美味しいところがいい」と、うれしい声が寄せられました。

(農)房総食料センターとは

1969年、房総の志ある9人の若者が「光町稲作研究会」を結成。後に「自分たちで作った安全・安心な農産物を直接消費者に届けたい」と1982年、(農)房総食料センターを設立、東都生協と産直がはじまりました。



「ようやくお披露目です。栽培履歴が明確で味自慢の千葉の新米を、ご堪能ください」と娘を嫁に出すようなコメント(理事長 椎名二郎さん)



具材を炒めて炊き込むから、コクは満点! 新米の旨みがさらに引き立ちます。

豚肉の炊き込みごはん

【材料(3合分)】

新米	3カップ	
豚小間切	150g	
にんじん	小1本	
ごぼう	100g	つけ汁A
さつまいも	200g	酒・みりん・東都つゆ…各大きじ2 塩……………小さじ1 水……………1カップ
本しめじ	100g	
サラダ油	大きじ1	

【作り方】

1. 新米は炊く30分前にとぎ、ざるにあげておく(無洗米は水につけておく)。
2. ごぼうはさがき、さつまいもはさいの目に切り、水にさらす。
3. 豚肉は食べやすい大きさに切る。にんじんは細切りにする。
4. 鍋にサラダ油を熱して豚肉を炒め、にんじんと水気を切った2を加えて炒め合わせる。小房に分けた本しめじとつけ汁Aを入れて5分ほど煮たら、具材と煮汁を分ける。
5. 1に4の煮汁と水を加えて普通より1割控えた水加減にし、4の具材を加えて炊く。

新米をおいしく食べるには?

ココがポイント!

<p>① 素早く力を込めず、3分以内にとぐ。</p> <p>最初はたっぷり水で手早く、水替えは3回程度で。力いっぱいぐと米が割れます。</p>	<p>② 水加減は心持ち少なめに。</p> <p>通常の水の量は米の量の2割増しですが、新米は1割増し程度です。</p>	<p>③ 炊く前にしばらくおいて水を含ませる。</p> <p>米の芯まで水を吸収させないと、炊き上がったとき芯が固くなります。</p>	<p>④ 蒸らした後はしゃもじで返しを。</p> <p>炊き上がった熱いご飯が空気に触れることで、歯ごたえがよくなり、艶も出ます。</p>
---	--	---	---



食料自給率アップにも貢献

米を作り続けるのが困難になり、水田を荒れたままにしている生産者も少なくありません。しかし、一度米づくりをやめた田を元に戻すのは大変です。そこで東都生協は休耕田を飼料用米(家畜の餌になる米)づくりに活用。畜産飼料は今、ほぼ外国産ですが、この飼料用米の取り組みが水田を守り、餌から国産にこだわった畜産物の育成を可能にします。



こだわりのお米がいつでも届く

年間を通して定期的に東都生協の産直米を届ける「登録米」制度。登録した組合員は良質な米を安定供給され、生産者は契約栽培により一定取引量が保障されます。組合員と産地の信頼関係をより強固にする制度です。



すべて産地が明確

東都生協の米は、すべて生産者や栽培法がはっきりしている「産地指定米」。土づくりに努め、化学合成農薬を抑え、環境を守って、地域農業の支援・発展をめざします。

東都生協 米の取り組み



もう1つおすすめ

新米をより引き立てるみそ



東都みそ

中華街に行った気分！ 飲茶点心の学習交流会

6月15日、足立・弘道ブロックでは、美勢商事(株)の江畑馨さんを講師に迎え、飲茶点心の学習交流会を実施しました。

学習会では、ギョーザが供給されるまでの流れや、国内産で自然本来のおいしさを持つ安全・安心な食材について学び、次はギョーザの焼き方の実践講座。おいしく焼くための湯を入れるタイミングと量など、みんなメモをとって真剣そのものでした。

その後、よい香りの湯気とともに並べられた野菜たっぷりギョーザ、シューマイ、豚まんなどを試食。「皮がもちもちしてる!」「お肉がすごくジューシー!」などの声が飛び交うアットホームな雰囲気の中で、楽しい交流のひと時を過ごしました。参加者からは「製品の安全性がわかってよかった」「中華街に行った気分になった」など、うれしい感想がたくさん聞かれました。



お酒も建物もすてきでした!

梅雨の合間を縫って、6月18日、調布南ブロックでは電車で石川酒造(株)を訪問しました。「東京にもこんなところがあるんだ!」と歓声があがるほど、石川酒造(株)の建物や庭がすてきなのにびっくり。この日、試飲したお酒の中では甘口が人気でしたが、ブロック委員長の石飛茂代さんは「今度ビアガーデンが開かれるときに行ってみよう」とか。

これまでも(有)須黒食品や全農パールライス東日本(株)に自転車で訪問した(!)というフットワークのいい、元気なブロック。実際に見て、話を聞いて、商品のことがよくわかると「やっぱり利用したくなる」ので、次の訪問先を検討中です。



有機野菜生産現場で本物を実感!

「東都みのり」の有機野菜はどんなところでどんな人が作っているのか……実際に目で見て、感じてもらうイベントが、6月12日、東都生協とJAやさととの共催で行われました。生産者との交流会では、「東都生協の組合員でした」という人にビックリしたり、農業をはじめたきっかけを聞いて納得したり。また、「毎日大変だけど頑張ってます」という若いパワーには、みんな拍手で応援しました。お昼は彼らが育てた野菜を使ったメニューに舌鼓。そのあと有機生産物の畑を見学し、レタスの収穫を体験しました。参加者からは「JAやさとの野菜に愛着がわいてきた」など、産地に来てこそその感激のコメントがたくさん聞かれました。お互いに知り合えたことで「これからもたくさん利用していきたい」という思いも強くなりました。

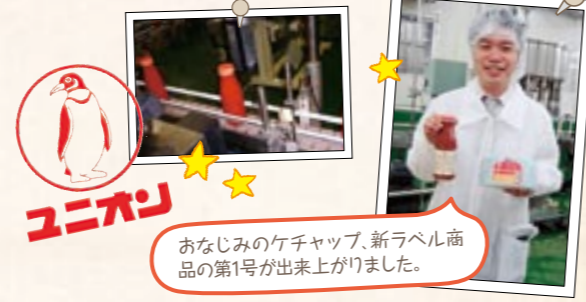


香り高いソースはこうして作られる

昨年度、おしゃべり商品交流会と手作りソース教室でお世話になったユニオンソース(株)。今回、井草ウェストブロックでは、6月14日、日光工場を見学しました。

まず感心したのは工場環境のよさ。また、材料は生の果物や野菜から作っていたり、香辛料も生を自家挽きするなど、ソースづくりへのこだわりは見事です。特にペンギンマークの「ウスターソース」は、増粘剤やでんぷん質不使用。「時間が経つほど熟成すると聞いたので、自宅で3年保存したあとに食べたい」という参加者がいたほど。

ユニオンソース(株)の香り高いソースにかける思いがよく理解できました。



おなじみのケチャップ、新ラベル商品の第1号が出来上がりました。

確かめてきました!! 野菜のおいしさの秘密! 食の安全・安心推進グループ 視察

6月4日、食の安全・安心推進グループメンバーは、(農)埼玉産直センターの視察を行いました。



最初に訪問した「肥料センター」では、土づくりの要である有機質肥料を製造。近年は周辺への臭気対策として、粉を飛ばさないペレット化に取り組んでいます。肥料センターの設立や大型機械導入には、東都生協の土づくり基金が活用されています。



ミニトマトとズッキーニの栽培の様子。ミニトマトとズッキーニの栽培の様子。ミニトマトとズッキーニの栽培の様子。



「ミニトマトのパック加工施設」の視察では、見学者もネットをかぶり、毛髪の混入を防ぐ徹底ぶり。出荷生産者名の管理、金属探知機による異物混入チェックの様子を見学しました。



新しい商品開発に意欲満々! 商品開発活動グループ・フライパン調理品チーム

6月28日、魚・貝・エビなどを使ったフライパン調理品チームの第3回会議を開催。前回の6品から絞った3品を試食し、改良点や組合員の好みの味に仕上がっているかを検討しました。東都生協などでは「こだわりを持って調理したものは味が濃い?」「年配の人には食感がよすぎる?」「国産材料を使用している?」など、細かく吟味。商品開発は時間もあり、人に好まれる味にしていくのは大変だけれど、自分がかかわって生まれた商品は自信を持っておすすめできる!と、みんな意欲満々でした。



ここで選んだ商品は9月以降に組合員モニター約3000人に試食してもらい、フライパンチームの商品として決定します。来年度には「魚介類とブロッコリーの塩炒め(仮称)」でデビュー予定……楽しみにお待ちください。

さんぽんすきセンター会場での午前の委員会、6月の試食商品は「米粉入り生パスタリアટેッレ」と「国産帆立と生しめじの炊き込みご飯の素。味・食感・仕様内容・規格・利用しやすい価格・総合評価などを、組合員の視点で評価しました。委員会では、活動に参加するのはじめての委員も、いろいろな商品活動の経験がある人も、2時間という時間の中で真剣に検討を行います。

「米粉入り生パスタリアટેッレ」は、新潟コシヒカリの米粉を30%配合し、国産小麦で作った平打ちパスタです。使用している全卵粉や増粘多糖類への質問や、「添加物は減らして」「ソースを付けたら」などの意見がさかんに飛び交いました。また「国産帆立と生しめじの炊き込みご飯」には「貝が小さい」「だしの味をもう少し検討して」「塩辛い」などの声があり、「なかなか厳しい目をお持ちですね」と職員をうならせる一幕も……。

厳しい目でチェック! 新商品検討委員会 開催

知ってほしい! 用語解説
本文、赤マーカー部分の言葉を解説しちやいます!

土づくり基金
生産者の土づくりに関連する施設建設や研究のために、組合員から集めた基金を低金利で貸し出す制度。

「東都わかば」表示
化学合成農薬または化学肥料をおおむね50%以上削減して栽培された産直農産物に与えられる栽培区分表示。

トレーサビリティ
消費までの各段階で問題が生じたとき、流通から生産現場までさかのぼったり、逆に生産から消費までたどることによって原因を把握できる手段のこと。



クイズ応募ハガキで見つけた、コメント紹介

こだわりの食べ方 うすのスキスキメニュー「うなぎ」

スキスキメニュー きゅうりの薄切りやみょうがの千切り、それに短冊切りにしたうなぎを酢飯にぎっくり混ぜ合わせます。錦糸卵ときざみのりて飾って食べるのが好きです。江東区 片岡初子

スキスキメニュー 塩もみして水気を切った薄切りのきゅうりに、細く切ったうなぎの蒲焼きを混ぜ、お好みでたれ、粉さんしょう、酢を加えた簡単酢の物! みょうがを散らしてもおいしい。世田谷区 石河久枝

スキスキメニュー 東都生協のうなぎは皮も軟らかく、そのままでも食べやすく大好きです。または、解凍したうなぎとすりにんじん(1本分)をいっしょにして炊き込みご飯にします。味付けはたれでもOKです。国分寺市 須崎とみ子

スキスキメニュー 東都生協でも企画がある、うなぎ白焼き。わさびしょうゆで食べるのが好きです。フランスの料理人、ポール・ボキューズの本にあったうなぎの赤ワイン煮、試そうかな。練馬区 野木千珠

スキスキメニュー うなぎを温め、そのまま皿の上へ! 粉さんしょうをかけてビールのおつまみ。最高です。葛飾区 山本明子

「変わったチラシだな」「総代会の特集?」...東都生協だよりのリニューアルになかなか気がつきませんでした。クロスワードパズルがなくなったのは残念。娘たちが辞書を片手にけんかしながら解いていたのに。復活を待っています。文京区 奥田知子

「坂利の手延素麺」に出会った私は、あまりのおいしさに早くも3箱も注文! 麺好きなのであれこれ食べましたが、迷うことなく「坂利」さんに軍配を上げます! 練馬区 寺澤理子

いっぱい詰まった冷凍庫が1週間で空っぽになります。息子はお肉が大好き。今は大学生となりお弁当はなくなりましたが、いろいろと東都生協の食材は重宝しました! 大田区 西鍵真由美

生後6カ月になる娘の初めての離乳食に、東都生協の金芽米を食べさせました。これからも東都生協の美味しい野菜や果物をいっしょに楽しく食べていきたいと思っています! 世田谷区 中村昌史

表紙にある「MOGMOG」、すてきな名前を付けましたね。色もさわやかで東都生協だよりにふさわしいです! 町田市 福島和子

今夏は暑さが厳しく野菜の生育が悪く、価格も高騰、品不足が続く中、東都生協では順調に供給があり、ありがたく思っています。おいしい野菜は孫の味覚にも合うようです。産地の皆さま、お元気に野菜づくりをしてください! 杉並区 久保川雅子



「ひとこえ生協」に寄せられた質問にお答えします!

Q 商品案内に、カタログなどがたまに逆さに挟まれています。読みにくいので別々にしていただろう。
A 申し訳ありません。複数のカタログなどを機械でセットする際の不手際と思われるので、改善をすすめます。また、商品案内とカタログなどを別々に、というご要望については、班での共同購入の場合、複数人数分の商品案内をクリアケース(通い袋)に入れてお届けするため、個人別にまとめています。カタログなどを別々にすると、かえってわかりにくくなるからです。どうかご理解ください。

Q 冷凍肉の100gほどの少量パックを企画してほしいです。
A 牛肉については140gや150gの商品がありますが、豚肉や鶏肉は製品価格が安いため、少量パックの包装コストで割高になってしまいます。3.仕切り下し、バラ凍結など、少量ずつ取り出せる商品も扱っていますが、これらは大量生産が難しいことから、商品の種類が少ないのが現状です。しかし、少量パックの要望も少なからずいただいているので、実現に向けて検討していきます。

Q 青果物は、品質保持のために供給日の前日午後6時から青果専用の保存箱にセット、定温供給しています。現在、いちご玉ねぎは同じセットラインの作業です。箱を別にしたたり、セットラインの変更をすることは、新たなコスト発生につながります。また、以前いちごはセットせずにお届けしていましたが、トラック内の温度上昇による品質劣化を避けるため現在の形になりました。申し訳ありませんが、現状ではいちごの別セットは困難です。今後、流通技術を含め、変更できるようであればあらためて検討してまいります。

Q 商品案内の赤印の特価の意味を教えてください。
A 「特価」赤地に白文字の表示価格は、通常価格に対して4%以上の値引きがあるものです(増量したことで、重量単位の価格が4%以上値引きになっている商品も含む)。この基準は、野菜や果物など仕入れ価格が大きく変動する商品には用いられません。また、大幅に値引きしている商品は、へりし応援(20%以上値引き)商品や十の市(10%以上値引き)商品などです。

Q うちごと玉ねぎが同じ箱で届きました。玉ねぎの強いにおいがいちごに移って、おいしくありませんでした。セット方法を考えてください。
A 「うちごと玉ねぎが同じ箱で届きました。玉ねぎの強いにおいがいちごに移って、おいしくありませんでした。セット方法を考えてください。」

218円(通常208円)

MOGMOG 虫食いクイズ



問題 桜前線のように南から北上し、食卓に出るとおかずが霞むほど、「ピカピカ」でおいしい!!

応募方法 ●答えを郵便はがきに書いて送ってください! ●また、好きなイラストや一言コメント・感想もお待ちしています! ●今月号の答えのこだわりの食べ方も教えてください! ●住所、氏名(お子さんは学年も)、電話番号、センター・ブロック・班名もお忘れなく! ●正解者の中から抽選で20人の方に図書カードプレゼント。発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。締め切りは9月22日(水)、消印有効。

※お便りや個人情報は、「MOGMOG」でご紹介する場合がありますが、編集目的以外への使用はいたしません。※お便りへの個別回答は行っていません。

あて先 〒156-0055 世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4F 「東都生協だよりのMOGMOG」係



Q ノンアルコールビールを企画してほしいです。
A ノンアルコールビールについては、新発売当初に取り扱いの検討をし、メーカーに原料の確認をしました。その結果、シエラNo.1,2の商品でアミノ酸が使われていることがわかり、見送る判断をしました。ご要望があることは承知していますが、以上のような理由で現在取り扱っていないことをご理解いただければと思います。

Q 「クッキングソースウスター」は、最近企画がないのでまたぜひお願いします。
A 「クッキングソースウスター」(360ml)は、利用の落ち込みなどの理由で、09年2月、廃番となりました。現在、東都生協で取り扱っている「ユニオン特級ウスターソース」も、「クッキングソース(ウスター)」の製造メーカーの商品です。仕様に多少の違いはあるものの自家挽きスパイスと生野菜を煮出す製法は同じですので、こちらをおすすめします。

Q ミックスキャロット「ジュース」などのドリンク類は、箱入りでしか購入できません。お試しし、単品購入できるようにしてほしいです。
A 飲料のお試し企画は、現在新商品やリニューアル商品がある場合に2本〜3本のお試し規格をご案内しています。今後、少数利用ができるよう、お試し企画について検討します。

● 今度の定例理事会日程予定
 10月21日(木)、11月18日(木)、12月16日(水)

- パナナ事業に係わる法人設立に関する件
- 【報告事項】
- 2010年6月度決算概況報告
- 東京南部生協2010年6月度決算概況報告
- 洗びん事業関連報告
- 各部署業務報告(管理部、共同購入事業部、拡大推進部、店舗運営部、保障・生活文化事業部、総務人事教育部、労務関連、商品部、安全・品質管理部、組織運営部)
- 組合員活動委員会報告
- 商品活動関連報告
- 理事懇談会開催の件

- 2010年度第3回定例理事会 2010年6月24日(木)
- 【審議事項】
- 第36回通常総代会のまとめ確認の件
- 住宅地図データの予算外購入の件
- 退職年金規程の一部改正の件
- 土づくり基金交付の件
- 【報告事項】
- 2010年5月度決算概況報告
- 東京南部生協2010年5月度決算概況報告
- 洗びん事業関連報告
- 各部署業務報告(管理部、共同購入事業部、拡大推進部、店舗運営部、保障・生活文化事業部、総務人事教育部、労務関連、商品部、安全・品質管理部、組織運営部)
- 組合員活動委員会報告
- 商品活動関連報告
- 2010年度関係会社等担当役員員の役割分担の件
- 2010年度上半期重点進捗状況報告の件
- 理事懇談会開催の件
- 常任理事会決議事項報告
- 2010年度第4回定例理事会 2010年7月22日(木)



インフォメーション

理事会報告

東京都福祉の助け合いの会

ほっとはんど

“ほっとはんど”は、助け合いの精神に基づき、手助けを必要とする組合員への家事援助活動を行っています。

- ◇活動内容: 保育、料理、掃除、洗濯など、誰にもできる家事援助
- ◇活動時間: 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
- ◇活動地域: 都内全域
- ◇依頼内容や地域によりお応えできない場合もあります。ご不明な点はお問い合わせください。パンフレット請求可。
- ◇年会費: 1000円 返金不可。会のしくみをご理解のうえ、お申し込みください。
- ◇希望の会員種別のコードをOCR注文書の特別企画品注欄に記載してください。

援助をする会員登録コード **365955** で **1** です。

援助を受ける会員登録コード **365963** で **1** です。

賛助会員登録コード **365971** で **1** です。

問い合わせ【ほっとはんど事務局】
 電話 03-5374-4748

6月のわたしたち

2010年6月20日現在

※[]内は前年比

組合員数	230,065人	[101.7%]
加入	8,048人	[92.6%]
脱退	5,443人	[94.2%]

総事業高	8,842,271千円	[94.7%]
共同購入事業	8,475,144千円	
店舗事業	61,177千円	
生活文化事業	113,439千円	
共済事業	47,756千円	
その他事業	144,755千円	

出資金	7,039,201千円	[100.3%]
一人あたりの出資金	30,769円	[98.6%]

MOGMOG レポート

今までも、これからも、日本の畜産物を食べ続けたい 「消費者と畜産農家の願いをつなぐ緊急集会」開催

東都生協は「日本の安全な農畜産物を食べ続けたい」という願いを込め、産直産地とともにさまざまな「食の未来づくり運動」に取り組んでいます。ところが、今、全国の畜産物の皆さんは、口蹄疫の発生、増え続ける輸入肉、飼料の高騰、重労働や高齢化により、廃業の危機に瀕しています。

そんな皆さんを守る力になりたいと、口蹄疫被害を受けた宮崎県の畜産農家をはじめ日本全国で不安を抱える畜産業者に向けて、日本の畜産存続を願う「消費者と畜産農家の願いをつなぐ緊急集会」が7月17日に開催されました。

冒頭、庭野吉也理事長は「日本の畜産の現状を再確認し、国内産の農畜産物を食べ続けていくという決意と激励の思いを込めて、この集会を開催した」とあいさつ。続く、日本大学・生物資源科学部准教授の早川治先生の基調講演「日本の畜産業の抱える悩み」では、家畜伝染病だけでなく、消費の低迷、穀物価格高騰による日本畜産への影響なども知ることができました。

また、産地と組合員のリレートーク「いま、届けたいメッセージがある」では、生産者は畜産現場の本当に厳しい現状を語り、消費者からは「日本の畜産は私たちの手で守ります。皆さんを応援します」との決意発表がありました。

今回東都生協に託された義援金は約700万円。寄せられた励ましのメッセージカードは230枚を超えました。

私たち組合員ができることは、日本の畜産農家の現状を正しく知り、国産の牛肉、豚肉、鶏肉、そして牛乳や卵を買い支えていくことです。日本の畜産業の存続を願って、あなたにもできる「はじめの一步」を東都生協とはじめましょう!





日本大学の早川治先生が基調講演

- 生産者より 穀物相場高騰、口蹄疫…このままでは日本畜産業が消滅します。この苦しさの中、皆さんに買い支えていただき感謝しています。
- 組合員より 私たちは購買することでしか応援できませんが、これからも東都生協の畜産品を利用し続けます。

食の未来づくり運動 || 私の宣言 ||

行動目標1

食費の5割以上は東都生協の商品を利用し、食卓から日本の農業を応援しよう

行動目標2

年に1度は、生産者との交流や生産を支援する取り組みに参加しよう

行動目標3

1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

「食の未来づくり運動」は、皆さんの生活の中に浸透しはじめていますか? 今回は東都生協の代表的な商品、「豆腐」を製造している(有)須黒食品の須黒光亮社長から組合員の皆さんへの熱いメッセージです。

当社が、国産大豆の豆腐づくりにこだわるのは、おいしくて、安全・安心な豆腐を求め人(組合員)がいるからです。今日ではニーズの多様化だけでなく、こだわりと要求の多様化を強く感じます。どういう商品を提供できるのか、何が求められているのかを常に考えていますが、こだわりを捨てることなく豆腐づくりを続けることが一番大事なことだと思っています。

今の若い世代の人たちは食べものがないという苦労を経験していないでしょ? また、暮らしの中にはさまざまな時間的な制約があり、家庭によっては物づくりの経験が少ないという場合もある。でも、そういった個人差があっても組合員活動の中で豆腐づくりをすると、「よかった」と思ってもらえているという実感があります。

私たち作り手も、素材をいかした物づくりへのチャレンジについて、できるだけお伝えするようにしています。その中から感じたことを組合員の目線で広めてほしいですね。作る側と食べる側がともに日々喜びを感じられるように、努力をして

いるところです。

大豆の国内生産量は5%、これは農業の難しい現実を物語っています。ですが、生活の中に国産品を取り入れ、一方で私はいろいろなことにチャレンジして国産大豆の豆腐を作る。この流れを東都生協とかかわることでお互いに共有できると思うんですよ。

また、商品のよさをどう伝えるかという課題もあります。食べものは命の源です。だからこそ、いいものを知ってもらいたい。だからこそもっともってアピールして、仲間を増やして共感してほしい。そのために組合員活動に参加してほしいですね。

東都生協に加入していればこそ、考えることや学ぶことが増えるはず。組合員の皆さんには知識を得る経験をたくさんしてほしいですね。そして、弾力的な思考でよりよいものを家庭に取り入れてください。いずれそれが、日本の食糧危機を救うほどのすくい力になるかもしれませんよ。





皆さんにできることは... 何ですか?

あなたに「できること」を宣言しましょう! はがきに書いて「東都生協だより 私の宣言」係へ!

田んぼの学校日記

6月26日(土)

田んぼへ行くと、雑草「コナギ」がたくさん生えていた。これは田んぼの栄養分を奪い取る稲の大敵。田んぼの中をコナギや他の雑草を次々に退治しながら進んで行く。根から引き抜き、そのままスプンプと水中のドロの奥深くに大敵たちを埋め込んでいく。雑草と格闘しながら、畝に沿ってまた一歩また一歩とドロに足をとられながら田んぼの中を進む。

ふと我に帰って顔を上げると、向こうの畦まではまだ遠い…。何度もその繰り返し、「フウ〜」。除草剤を使えば草取りをしなくても済むがそういうものは使いたくない。そのためみんな知恵と体力と笑顔でがんばっているんだもの。数人で、沖繩の人からいただいた「島さといも」を2号田の横の湿地に植えた。「ハワイのタロイモみたいらしいよ」と誰かの声。どんなイモができるのか楽しみ。

お昼においしいスイカをいただいたあとは、アイガモ農法をしている田んぼの見学。アイガモは田んぼの雑草や害虫を食べ、フンは稲の養分になる。アイガモに餌の米くすを見せると50羽が目散に泳いでやってきた。「かわいい!」みんな思わず声が出た。疲れが癒された瞬間だった。



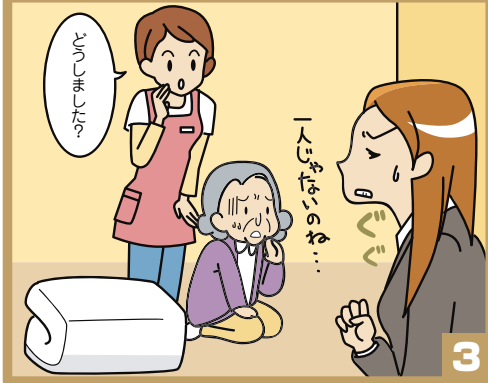
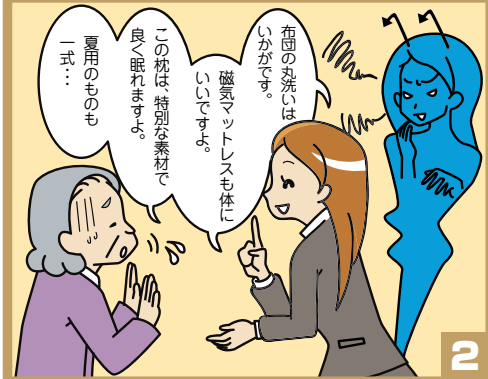
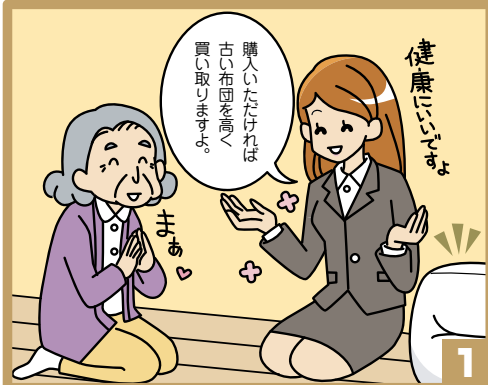


「田んぼの学校」…後継者不足や生産者の高齢化による休耕で増加した荒れた田をなんとかしたい、お米を食べることが農業支援になるという思いではじめた再生田の活動。

次々販売

～本当に必要なものか、よく考えましょう!～

次々販売とは、自宅への訪問などで言葉巧みに近づき、親切な態度やセールストークで契約を結ばせ、一度契約させると、次々に別の契約を持ちかけるトラブルです。契約情報が他の業者に流れる場合もあり、羽毛布団、浄水器、住宅リフォーム等の別の業者も次々に勧誘に来るようになります。特に、高齢者が巻き込まれ、多くの相談が寄せられています。



対策

- ①販売目的を告げない業者は、決して家に入れない。
- ②業者からプレゼントをもらったり無料招待を受けない。
- ③契約は、周りの人とよく相談し、一人で判断しない。

本人に被害者意識がなくても、家族、ヘルパー、ケアマネジャー、民生委員など、高齢者の身近にいる方の声かけにより、被害に気づくケースもあります。

身近にいる方の気づきのポイント

- 見慣れぬ人がたびたび出入りしている。
- 新しい商品があり、お金に困っている様子。

身近な方の見守りが被害を防ぎます。「怪しい」、「気になる」と感じたら、まず下記へ相談しましょう。

高齢者の消費者被害のご相談は「高齢者被害110番」

☎ **03-3235-3366**

受付時間
月～土：9時～16時

ホームヘルパー、ケアマネジャーなど高齢者の身近にいる方からの通報・お問い合わせは「高齢消費者見守りホットライン」

☎ **03-3235-1334**

受付時間
月～土：9時～17時

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ16階
(日・祝日・年末年始はお休みです)

📍 東京都消費生活総合センター

このページは、東京都と東京都生活協同組合連合会の協働事業により掲載しています。



いつまでも平和が続きますように

数年前、母が健康と栄養を考えて雑穀入りご飯を出したところ、父に白いご飯を懇願され、その後は雑穀入りをやめたそうです。戦後の食の乏しい時代、麦や粟の入ったご飯を食べていた父の白いご飯への思いは特別だったのでしょ。世界では今も紛争のために、「食べるものがない」というくらいを強いられている多くの子どもたちがいます。この子たちのためにも、平和を取り戻すことができた私たちが、平和の大切さを伝えていくべきではないでしょうか。戦後65年。戦争体験者も少なくなっています。もし、ご家族に戦争体験者がいらっしゃったら、お子さんをまじえてその時代について家族で話されるのいいかもしれませんね。

(K.S.)



「MOGMOG」機関誌 東都生協だより

第350号 9月10日発行

発行人/庭野吉也 編集責任/東都生協だより編集委員会

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル

TEL 03(5374)4750(代)

ホームページアドレス <http://www.tohto-coop.or.jp>

今月の表紙

おいしい栗の見分け方、ご存知ですか？

栗は、皮に張りりと光沢があって、すっしりと重みがあるものがおいしいと言われてます。軽い栗は水分が減った古い栗。味も風味も落ちてます。傷が付いていたり変色しているものも避けましょう。

お問い合わせ 組織運営部

☎ **03(5374)4756**

月曜～金曜：午前9時～午後5時

E-mail kumikatsu@tohto.coop

